

## 会 議 録

会 議 名	令和5年度第2回野田市立図書館協議会
議題及び議題ごとの公開又は非公開の別	1 令和5年度野田市立図書館事業実施状況報告（4月～1月）について（公開） 2 令和6年度野田市立図書館事業計画について（公開）
日 時	令和6年3月22日（金） 午後1時30分から午後3時00分まで
場 所	櫛（けやき）のホール2階 興風図書館会議室
出席委員氏名	会 長 河合 章男 副会長 村越 健志 委 員 石山 美代子、佐藤 清美、倉持 京子、三ツ橋 淑子 石坂 瑞子
欠席委員氏名	委 員 下川 泰弘、松田 裕二、横川 しげ子、新田 のり子
事 務 局	染谷教育長 富山教育次長（兼）生涯学習部長 渡邊興風図書館長 宮崎興風図書館館長補佐（兼）図書サービス係長 町田興風図書館庶務係長 杉山興風図書館図書サービス係主任主査 龍野興風図書館図書サービス係主査 真部興風図書館庶務係主任主事 正岡南図書館長（指定管理者） 深尾北図書館長（指定管理者） 吉田せきやど図書館長（指定管理者） 高橋図書館流通センター図書館サポート事業部千葉県エリアマネージャー（指定管理者） 山田日本管財千葉営業所係長（指定管理者）
傍 聴 者	1人
議 事	令和5年度第2回野田市立図書館協議会の会議結果(概要)は、次のとおりである。（本文中の事務局の説明は会議資料を参照）

興風図書館庶務係長	委員1名が令和6年2月に退任され後任委員を選定中であること、委員11人中7人の出席により会議が成立していること、会議を公開することとし市報や市のホームページで会議の開催及び傍聴を周知していること、会議資料や会議録は市のホームページに掲載するとともに市役所やいちいのホールの行政資料コーナーに配置し閲覧できるようにしていること、会議録作成のため録音機を使用することを報告する。
河合会長	〈河合会長が挨拶を行う。〉
河合会長	ここで会議傍聴希望の申出があったため、傍聴を許可してよろしいか。
河合会長	〈同意する声あり〉
河合会長	それでは傍聴を許可する。
河合会長	〈傍聴人1人が入室する。〉
河合会長	傍聴される方に申し上げる。会議における議論について批評を加えたり、賛否を表明したり、私語等を発することのないようお願いする。
染谷教育長	〈染谷教育長が挨拶を行う。〉
興風図書館庶務係長	会議資料の一部に誤りがあったため、訂正をお願いする
河合会長	〈会議資料について訂正する。〉
河合会長	議題1 令和5年度野田市立図書館事業実施状況報告（4月～1月）について、事務局から報告をお願いする。
興風図書館長	〈令和5年度野田市立図書館全体及び興風図書館事業実施状況（4月～1月）について報告する。〉
南図書館長	〈令和5年度野田市立南図書館事業実施状況（4月～1月）について報告する。〉
北図書館長	〈令和5年度野田市立北図書館事業実施状況（4月～1月）について報告する。〉
せきやど図書館長	〈令和5年度野田市立せきやど図書館事業実施状況（4月～1月）について報告する。〉
河合会長	質問、意見などあるか。なお、議事録作成のため発言の際は氏名をお願いしたい。
佐藤委員	興風図書館の課題として、おはなし会の参加人数がコロナ禍前ま

<p>興風図書館図書サービス係主査</p>	<p>では戻っておらず、アンケートの結果、実際に開催している日時と利用者の希望する日時との違いも確認しているとのことだが、希望の日時というのとは何時頃なのか。</p> <p>平日に関しては午後3時以降が一番多かったが、それ以上に平日は参加できないという方が多かった。土曜日、日曜日に関しては圧倒的に午前中を希望される方が多かった。現在、興風図書館では土曜日、日曜日の午後2時からおはなし会を開催しているが、来年度は午前10時からに変更する予定である。</p>
<p>三ツ橋委員</p>	<p>興風図書館では、図書館を使った調べる学習コンクールで全国コンクールの受賞者を出し大変すばらしい。調べるための学習方法について手助け、道筋をつけてあげるとはとても大切なことなので、一人でも多くの児童、生徒が利用していただけたらと思う。また、科学あそび教室の充実具合も、毎月ミュージアムパークのようなワクワクするイベントが企画されていてよいと思う。ただ、参加者が一桁なので、もう少しうまく告知をして二桁になればよいと思う。南図書館は、図書館事業の告知について努力した結果、一つの事業の平均参加者数が14.1人から20.9人まで増えた。平均参加者がこれくらいコンスタントに来ているというのはすばらしいと思う。また、南図書館は旅の情報誌や旅関係の本が充実していて面白い。新たな強みを発揮されてイベントを行われたらよいと思う。北図書館は、図書館サポーターが0人から12人に増え、チラシ配布や細やかな告知をしたことが結果につながっていると思う。せきやど図書館は、地域の児童の作品を図書館に展示することにより、ふだん来館されないような御家族での姿が見られるようになったとのことなので、そのようなことを機に図書館に行ってみようかという方が徐々に増えていったらよいと思う。なお、せきやどシネマフェスタについて、どのような取組だったのか詳しく教えていただきたい。</p>
<p>せきやど図書館長</p>	<p>せきやどシネマフェスタは夏と3月頃の年2回行っており、夏は児童向けの映画又はアニメ映画を上映している。例年であれば小学生向けのアニメを上映していたが、令和5年度はようかい探しのイベントを行っていた関係で、年齢層は高めかなと思ったがようかい</p>

	<p>が出てくるようなアニメ映画を上映した。また、3月は毎年大人向けの映画を上映しており、令和5年度は山崎努、樹木希林主演のモリのいる場所という作品を上映したところ、まめメールの宣伝効果もあり、当日は大勢の観客が来場された。</p>
<p>河合会長 せきやど図書館長</p>	<p>参加人数が4人と少ないが。 令和5年8月に実施した1回目は、広報の方法が余り良くなかったのか参加者が少なかったので、令和6年3月に実施した2回目は広報を頑張らせていただいた。</p>
<p>興風図書館長 興風図書館長補佐</p>	<p>3月の2回目は63人と多くの方が来場された。 興風図書館の科学あそび教室の参加者数について補足させていただきたい。</p>
<p>興風図書館図書サービス係主査</p>	<p>科学あそび教室はコロナ禍になってから定員を6人に減らして実施していたが、令和5年度の途中から新型コロナが5類感染症に変更されたこともあり、現在は定員を9人に増やして実施している。</p>
<p>村越副会長</p>	<p>ブックスタートは642セットを配付したとのことだが、野田市では3か月児健康相談の対象数がおおよそこれだけの人数であったのかお伺いしたい。図書館事業について一生懸命行われており頭が下げるが、これだけ行っても図書館の貸出数が減っているのは悲しく感じる。市内の書店が減っており本を購入する場所がなくなってきているので、この機会に図書館の方でもう少し盛り上げていただければと思う。</p>
<p>興風図書館長補佐</p>	<p>ブックスタートの配布数は、健康相談に来なかった方もいるが、野田市における3か月児のおおよその人数である。</p>
<p>興風図書館図書サービス係主査</p>	<p>対象数に対する配布数は、年間で約97%の方に配布している。</p>
<p>河合会長</p>	<p>野田市の新生児は650人くらいしかいないということだが、流山市の新生児の人数は二千人を超えている。本協議会の範囲を超える話だが、施策が必要と思われる。</p>
<p>河合会長</p>	<p>感想であるが、全国的に20代の読書数が減っており、その大きな理由は、コロナ禍で高校や大学の授業がオンラインになったことである。それをどうするか全国的な問題となっているが、私なりの意見を申し上げますと、読書教育は昭和までは内面の形成であった</p>

	<p>が、平成になって発信型の読書に変わった。どちらも極端になるのはどうかと思うが、内面の形成は子どもにとってとても重要なことであり、君たちはどう生きるかというような発想が生きてくるということは、内面の形成が読書の基軸の一つあるからだと思う。しかし一方で、今はそれで終わってしまっては駄目で、それが情報発信になっていかななくてはいけない。そこがコロナでどちらも弱くなっている気がしており、非常に危惧している。そのためには、一つの活動の例として、ウィキペディアを書こうというような活動が非常に有効だと思う。ウィキペディアは誰でも書くことができるので、高校生、大学生に勉強させてウィキペディアを書き直させて、自分たちで世界の情報を作っていこうと。しかし、ウェブから引用してウェブを作っては駄目である。事実から引用するか本から引用するしかウィキペディアにおいては許されない。そこをきちんと指導して本から調べたことをウィキペディアに書く。そういう活動を図書館や学校で実施されたらどうかと思う。そうしないと本当に本はどんどんないがしろにされて、根拠のないあやふやな情報のコピーがそのコピーを生んでいくだけの時代になってしまうので、それは避けたいと思う。野田市からそういうことを発信していければと強く思う。ちなみに私も気が付くとウィキペディアを直しているが、間違えているところを探す、それが大事だと思う。それからもう一つ、我々は図書館協議会委員なので、メーリングリストなどで図書館の活動の情報を配信していただけると、活動を見学に行ったりできると思う。あるいはホームページ等で図書館の活動の情報が一括して閲覧できる箇所を教えていただけたら、我々も動き出せると思う。</p>
河合会長	<p>ほかに質問、意見などあるか。</p>
	<p>&lt;質問、意見無し&gt;</p>
河合会長	<p>なければ、令和5年度野田市立図書館事業実施状況報告（4月～1月）について報告事項として御了解を頂いたということでしょうか。</p>
	<p>&lt;異議無しの声有り&gt;</p>
河合会長	<p>それでは次の議題に移る。議題2の令和6年度野田市立図書館</p>

興風図書館長	<p>事業計画についてを議題とする。事務局から説明をお願いする。</p> <p>&lt;令和6年度野田市立図書館重点目標及び具体的施策、野田市立興風図書館事業計画について説明する。&gt;</p>
南図書館長	<p>&lt;令和6年度野田市立南図書館事業計画について説明する。&gt;</p>
北図書館長	<p>&lt;令和6年度野田市立北図書館事業計画について説明する。&gt;</p>
せきやど図書館長	<p>&lt;令和6年度野田市立せきやど図書館事業計画について説明する。&gt;</p>
河合会長	<p>質問、意見などあるか。</p>
三ツ橋委員	<p>令和6年度野田市立図書館事業計画の具体的施策の所に記載のある図書館資料及び設備の充実について、図書及び視聴覚資料を計画的に購入し、蔵書数の充実を図るとあるが、思ったことが幾つかある。まず、土竜（もぐら）の唄の展示が現在興風図書館で行われているが、野田市出身の高橋のぼる先生の作品は実は若い人向けで、やくざと警察のアクションコメディであり、宮藤官九郎さんが脚本を書いている、こういうものであったら若い人ももっと興味を持ってくださるのではないかと思う。このようなイベント等があると、野田市とDVDと図書とがいろいろつながるのではないかと思う。それから、私はDVDの購入希望を時々出しているが、気になることが二つある。一つ目は、1年の予算枠が終了したというもの、二つ目は多くの方に見ていただける作品にしたいので購入を見送ったというものである。私が希望を出した作品、例えば第二次世界大戦の史実に基づいた映画の作品であると、やはり残酷なシーンというものが出てくるが、そのような作品にはレイティングというのが設定されている。レイティングは、一般の方がどなたでも見ることができるG、保護者がきちんと判断してくださいというPG12、もう少し上の方向けのR15やR18というものがあるが、せっかく史実で良い話でもレイティングに引っ掛かって購入していただけないこともあるのかと考える。子どもたちにしっかりと今までの歴史を知ってほしい、もし本が読めないのであれば映像からでも知ってほしいと考える。そこでお伺いするが、野田市の購入ルールはレイティングで決めているのか。Gしか購入しないのか、それともPGまでは購</p>

入するのか疑問に思ったので、まず一つ目の質問は、野田市のDVDの購入ルールについて教えていただきたい。もう一つは、私は購入希望を出すときに、MMC図書館.JPというページがあり、図書館向けのDVDなので安心して申し込むことができるのだが、その中から作品を選んで購入希望を出すと、購入していただける場合と購入していただけない場合がある。そのようなことは、恐らく野田市の市民は余り御存じないと思うので、私は周知した方がよいと思うが、余り購入希望が殺到してほしくないから詳しくルールを出していないのか、それともこういうものは買えないとか、余りセクシャルなシーンがあるものは駄目ですよということを教えない理由があるのか、教えていただきたい。三つ目は年間のDVD、CDの購入希望点数と実際の年度内の購入点数を教えていただきたい。購入希望を出したものについては、購入の有無の結果が記載されたカードがファイルにつづられて利用者が閲覧できるようになっており、購入できなかったものについてはその理由が記載されているので、どのような作品を野田市民の皆さんが希望されて、それがどのように図書館に収蔵されたかということが分かるようになっている。質問の一番目はレイティングによる購入希望のルール、二番目はそのルールを市民の皆さんに知らせることができるのか否か、三点目は実際の購入希望点数と実際に購入した点数。以上の三点について教えていただきたい。

興風図書館長補佐

レイティングに関しては、厳密にPG幾つなら買うとか買わないとかというルールは設けていない。これは図書についても同じことで、こういう本は買うが、こういう本は買わない、裸が載っているものは駄目というようなルールはない。ただし、三ツ橋委員が質問の際におっしゃったように、多くの方に見ていただかなければいけないということは選択肢としてある。予算も限られており、例えば一般で売られているものが一枚三千円だとしても、図書館で購入するDVDは著作権料が含まれているため5倍の一万五千円くらいになってしまう場合があるため、これならば多くの人に見てもらえるというものを選んでおり、限られた人しか見

ないような作品は選びにくい。ただし、図書館はレンタルビデオ店ではないので、売れるものだけ置いているということではなく、市場では余り売れてはいないけれども、資料としてはすごく大事なものであり、後世に残さなければいけないものこそ、本当は図書館が積極的に置いていくべきだとは思いますが、その兼ね合いが難しい所があるのは事実である。ただ先ほど申し上げたとおり、ルールとしてここからは買う、ここからは買わないというものはない。二番目の質問の回答にもなるが、ルール自体がないので周知するにしても何を周知するかということがある。逆にこういうことを周知してほしいということがあれば、それを教えていただければこちらで周知できるものは周知する。特に隠している訳ではない。

三ツ橋委員

購入希望を出すことが図書館の迷惑になってはいないかと考えてしまう。自分としては良かれと思い、皆さんに見てほしい作品をなるべく選んで希望を出しているが、どのくらいの頻度で出したらいいのか、いろいろと考えてしまい、購入希望の取扱いについて質問させていただいた。

興風図書館長補佐

本と同じであるが、購入希望やリクエストを出していただくのは、利用者の意見や希望が分かるので、図書館としては非常にうれしいことではあるが、購入できる予算は限られているので、例えばヘビーユーザーの方から毎日毎日リクエストカードが出されると、こちらとしては困ったということは確かにある。だからといって、週に1枚ならいいのか、月に1枚ならいいのかということを、こちらとしては言いにくいことである。もしたくさん購入希望が出されたとしても買えないときは買えないので、購入希望が10枚出されても購入できるのはこの中の1枚ですというようなお答えをせざるを得ない。ただし、こちらもそのような断りの回答をすることについて、非常に心苦しく感じているのは確かである。よって購入希望は余り気兼ねなく出していただいてよろしいと思う。購入希望が出されたものに対して、どれだけ買っているかということについては、データが手元にないが、調べれば分かるので、発表できるように準備したいと思う。

河合会長	<p>コストが異なるので同じように考えることはできないかもしれないが、35ミリフィルムの視聴覚ライブラリーというものがあって、その選択会議をかつては市で行っていた。私も流山で選択会議に出席したことがあるが、10人くらいが集まり、各作品の冒頭部分の15分から20分くらいを何十本も見るということを1日やっていた。本来はそのような審査会があるべきなのかもしれないが、そのコストでは無理かなと思う。</p>
興風図書館長補佐	<p>図書館では、本に関しては選書会議のようなものがあり、複数の司書が購入する資料を選んでいるが、DVDやCD等の視聴覚資料については、担当者がそれぞれ1人ずつのため、その担当者がいろいろなメディアから作品についての情報を得て、その作品に対する評価についても調査し、吟味した上で選んでいるわけであるが、一人で選んでいると言われるとつらい所がある。</p>
河合会長	<p>本来はそうではないと思うが、どうしても図書館では、視聴覚メディア自体が派生的に発生した業務みたいになっているので、大変だと思う。</p>
興風図書館長補佐	<p>担当者から作品の購入伺の起案が回ってくるので、上席の者がチェックをした上で購入している。</p>
佐藤委員	<p>私は学校図書のボランティアを行っている。令和6年度の事業計画の具体的施策に、学校図書館ボランティアの指導及び講師派遣等についてということが記載されているが、どのような指導をどのように行うのか教えていただきたい。</p>
興風図書館図書サービス係主任主査	<p>学校図書館のボランティアについては、学校の要望を受けて講師派遣をしている。野田市教育委員会学校教育部指導課の職員と一緒に年1回、各学校図書館を回って、担当の教諭や担当の学校図書館司書と話をするなどの取組を行っている。</p>
佐藤委員	<p>具体的にどういうことを行っているのか。例えば、本の並べ方や、展示物の作り方、本の修理の仕方、子どもに本を読んであげるときの読み方等の具体的なことを指導するのかについて教えていただきたい。</p>
興風図書館図書サービス係主任主査	<p>補足させていただく。資料に記載している講師派遣については、読み聞かせで指導にお伺いさせていただく。なお、今年度は</p>

<p>佐藤委員 興風図書館図書サー ビス係主任主査 佐藤委員 倉持委員</p>	<p>岩木小学校からレイアウトの変更がしたいという問合せを頂き、夏休み前に4回ほど訪問させていただいて、教諭、司書、ボランティアを含めてレイアウトの打合せをして、夏休み中に教諭に動いていただいた。そのように相談の内容によって対応している。</p> <p>それは学校サイドからの要望があり、それに応える形なのか。そのとおりである。</p> <p>分かった。</p> <p>令和6年度野田市立図書館事業計画の南図書館に記載のある和（なごみ）サロン（高齢者向け事業）について、内容を教えていただきたい。</p>
<p>南図書館長</p>	<p>和（なごみ）サロンは、高齢者向けのおはなし会を中心とした事業であり、毎月第2及び第4の金曜日に1時間30分くらいの時間をとって、和（なごみ）の会というボランティア団体と南図書館のスタッフとで運営している。内容は、基本的にはおはなし会、それから頭の体操のような脳トレ、えだまめ体操、リズム体操、そのような高齢者の方が頭と体を動かして元気に過ごすことを目的とした会となっている。また、毎回ではないが、フラダンスの会に来ていただいたり、ハーモニカの演奏者に来ていただいたりと、お楽しみ会のような内容も随時実施している。</p>
<p>倉持委員 河合会長</p>	<p>分かった。</p> <p>地域からの要望のような形で、図書館の事業として成立しているのか。</p>
<p>南図書館長 村越副会長</p>	<p>以前から継続して実施している。</p> <p>令和6年度野田市立図書館事業計画の、図書館機能の充実の中の、情報提供機能の充実の所に記載のある電子図書館の運営について詳しく教えていただきたい。それから、電子図書館によって読書の推進にはなると思うが、図書館に足を運ぶ人が少なくなってしまうのではないかとも思う。その辺りをどう考えているか聞かせていただきたい。</p>
<p>興風図書館長</p>	<p>導入を考えている電子図書館は、図書館システムとは非連携であるため、ウェブ上に電子図書館が存在する形になり、そこに登</p>

	<p>録を頂いて電子図書を読んでもいただくスタイルになると思う。今の段階では一般書と児童書、これらを選書していくわけであるが、児童書については読み放題パックの導入を考えている。図書館に来る人が少なくなってしまうのではないかという心配は当然あると思うが、図書館としては、現状ではまだ紙の本が好きな方が多数いらっしゃるが、紙と電子の組合せにより少し読書スタイルが変化してきているという捉え方をしているので、そのような変化に対応するとともに、さらには子どもたちや図書館に来ることができない人に対しても電子図書館の導入により対応する予定である。</p>
<p>興風図書館長補佐</p>	<p>読み放題パックについて補足させていただくと、通常電子図書館の本は、ある本を1人が借りると、その人が借りている間はその本は他の人が借りて読むことはできないが、読み放題パックは児童書が50冊くらいセットになっていて、学校の児童・生徒の全員が同じタイミングで読むことができる。そういう意味での読み放題である。読み放題パックを使う意図としては、ギガスクール構想により、児童・生徒はタブレットパソコンを各自持っているので、朝の授業が始まる前に10分程度本を読む、いわゆる朝読のときに、紙の本であると人気のある本は1人か2人しか読むことができないが、読み放題パックであればクラス全員で読むことができる。また、電子書籍自体、若年層の方が親和性は高い。中高年の方は紙の本の方が読みやすいという方も多いが、20代以下の方は電子書籍にすぐになじまれるし、コミック等は電子書籍の方が、売上げが多いものもある。そのような意味で児童書については読み放題パックによる電子書籍の導入を考えている。一般の方の電子書籍については、小説のようなじっくり読むものよりは、例えば料理を作る際に、かたわらで見ることができるというような種類の資料の購入を考えている。本と電子書籍のハイブリッド、両面で徐々に広げていければいいかなと思う。</p>
<p>河合会長 興風図書館長 河合会長</p>	<p>電子図書館については予算化されたのか。 令和6年度予算に計上している。 電子ブックを司書が自前で全部作成するというのではなく、</p>

<p>興風図書館長補佐</p>	<p>予算化したということでよいか。</p> <p>郷土資料は自分たちで作ることができる。普通に売られている本を、市が電子書籍として購入して使っていただく場合と、野田市の歴史の本など、紙の状態の本を図書館側で電子化する場合がある。</p>
<p>河合会長</p>	<p>分かった。</p>
<p>河合会長</p>	<p>ほかに質問、意見などあるか。</p> <p>&lt;質問、意見無し&gt;</p>
<p>河合会長</p>	<p>なければ、最後に私から一つ申し上げたい。今はすごく良い形で動いているように私は思う。各館の皆さんも頑張っていて、昨年度の課題が今年度は明らかに改善されているので、この形を是非継続していけるように、今の経営の形を持続していくことが現実的ではないかと思う。私もかつて行政で人事の仕事をしていたことがあるので少し心配をしているのだが、柱を作っていくために、毎年というわけにはいかないが、正規の公務員の司書を年次的に雇用していく必要があると思う。その柱がないと、全てが外注でよいという話になってしまうので、やはり野田市の図書館の文化を受けついでいく司書を、是非野田市で継続的に育成していくという思いだけは持っていたきたいと申し上げたい。</p>
<p>興風図書館長</p>	<p>最後に一点だけ連絡させていただく。令和6年度に樗（けやき）のホールの空調設備の工事を予定している。工事の時期は12月から2月までの予定である。工事の期間中、樗（けやき）のホール内にある興風図書館は閉館させていただくが、南図書館、北図書館、せきやど図書館は、どこの図書館でも休館日以外であれば本を借りたり返したりすることはできる。現在の状況で申し上げますと、興風図書館は閉館し館内閲覧等の施設の利用はできないが、サービスの低下を防ぐためにカウンターにおいて予約本の貸出しを行う等、最低限のサービスを行う予定である。詳細については本年7月に開催予定の令和6年度第1回野田市立図書館協議会のときに連絡させていただく。</p>
<p>河合会長</p>	<p>来年度の予算に、樗（けやき）のホールの空調工事や、コミュニティセンターの修繕費が計上されていた。有り難いことだと思</p>

興風図書館庶務係長	う。 それでは以上で令和5年度第2回野田市立図書館協議会を閉会 する。
-----------	---